

平成 26 年 3 月 28 日

教育開発推進機構長殿

学部長 新 富 康 央

平成 25 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに、以下の通り報告いたします。

学 部 名	人間開発学部
事 業 名	「人づくりのプロ」を育てる学部教育のあり方
平成 25 年度実務担当者名	柴 田 保 之
事 業 の 概 要	
【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？ （いずれかにチェック）	
<input type="checkbox"/> 計画通りであった <input type="checkbox"/> 概ね計画通りであった <input checked="" type="checkbox"/> あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/> 計画通りではなかった	
（以下、 本年度の推進事業の概要 について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）	
<p>当初掲げたFDの計画では、「学部における初年次教育のあり方の再検討」と「教育実習と関連科目の有機的統合」とをあげたが、後者のみの取り組みとなった。それは、「特色ある教育研究」でこのテーマの研究が同時進行しており、学部FDの取り組みと協働的に進めることで、そのテーマの成果をあげることにしたからである。</p> <p>本事業としては、まず、「特色ある教育研究（研究代表者：成田信子初等教育学科教授）」に参加して、前期の教職関連科目において、調査を実施し、その結果に分析をくわえた。分析の結果は、『人間開発学研究』第6号に掲載した。</p> <p>その結果を承けて、平成26年1月15日に『「人づくりのプロ」を育てる学部教育のあり方』のテーマのもと、FD研修会を開催した。研修会では、本事業の実務担当者の立場として柴田が「学生に育てる力とは」の提案、「特色ある教育研究」の研究代表者成田信子教授が「教職関連科目で育成する資質・能力」の提案を学内者として行い、学外から広島大学の米沢崇先生・久保研二先生が「小学校教員養成大学・学部におけるFDの取り組み」の提案を行った後、自由討論を行った。</p> <p>また、FD研修会を準備する中で、大学の教員養成をめぐるこれまでの諸研究を参照したが、今後ともこの問題を学部として様々な場面で追求していく必要性があったため、FD研修会終了後に関連書籍を購入し、共用に資することとした。</p>	